

作成日：2018年09月26日

| | | | | |
|--|----------------|----|------|------|
| 氏名 | 西 和浩 | 役職 | 無し | |
| 所属グループ | 包装食品工学科 密封グループ | | | |
| 教育の責務 | | | | |
| 私は、昨年10月1日、東洋食品工業短期大学に赴任し、今年4月より、下記の科目を担当しています。 | | | | |
| 科目名 | 対象学年 | 種別 | 開講時期 | 受講者数 |
| 密封技術ⅡA | 2年 | 選択 | 前期 | 25人 |
| 二重巻締実習 | 2年 | 選択 | 通期 | 24人 |
| 巻締主任技術者認定実習 | 2年 | 選択 | 通期 | 22人 |
| 金属容器密封実習 | 1年 | 必修 | 通期 | 36人 |
| 卒業課題研究 | 2年 | 必修 | 通期 | 4人 |
| 私の、担当している科目は、全て、二重巻締に精通する授業であり、座学、実習を絡ませながら二重巻締理論、シーマーの構造、調整、二重巻締缶の測定、不良缶の見つけ方等を出来る限り体感させるような指導を行い、卒業後、社会に出て自ら考え自発的に孝動出来るような人を教え育むことが、私の責務である。 | | | | |
| 教育の理念 | | | | |
| 建学の精神に基づき、ディプロマポリシーをクリアし、包装食品製造に携わる上で、その中の金属容器の密封の知識、機械を調整する技術を備えた人材を育成し、将来的には就職先での核となるような人に成長して欲しい。 | | | | |
| 教育方法 | | | | |
| 人に教えるといったを、今年より始めたばかりなので、どの様に進めるのが最適であるのかといったところがある中で、密封技術ⅡAにおいては、形を変えて始めた授業で有ったこともあって、気づき、考える力を身につけてもらうべく、なぜなぜ分析を取り入れてみました。試行錯誤の授業となりましたが、GWを取り入れながら行ってみました。各種実習に於いては、回数が少なく、一回の時間が長いので、繰り返しの調整を行っていく上でマンネリ化し、飽きてしまう人もいる為、密封技術ⅡAでトラブル事例を教えて、自習で実際に再現させてみるといった、体験型の指導を行ってきました。 | | | | |

| |
|--|
| <p>教育の成果</p> |
| <p>今回初めての、授業で有った為、段取りよく進められなかったため、私自身は満足のいく結果には、なりません。しかし、成績については、密封技術ⅡAに於いては、単位を落とす人もなく、それなりの成果は出ており、結果としては良かったのかなと思います。</p> <p>また、</p> <p>実習に於いても、巻締め主任技術者認定実習の際には、積極的に補習を受けに来る学生も数名おり、授業に於ける関心度も少しでは有りますが向上している兆候がみられました。</p> |
| <p>今後の目標</p> |
| <p>密封技術ⅡAにおいては、内容的に、実際に機械を触りながらでないと、座学だけでは理解できないところが有るので、OJTのような教育も取り入れていきます。また、なぜなぜ分析に於いても、GWを増やして、全員参加型の授業にし、眠たくなならない授業にしていきたいと思います。</p> <p>また、</p> <p>実習に於いては、座学とコラボさせた、実習は継続しながら、早く進む人への追加課題を作成し、飽きの来ない実習にしていきます。下半期に、試行錯誤しながら、検討し来年度より実施できるようにしていきます。</p> |
| <p>委員会、その他の活動</p> |
| <p>現在は、安全衛生委員会のみ活動ですが、実際の工場と比較するとまだまだ、5Sにおいては出来ていないと感じることも多々有りますが、学校と工場との違いも有りますので、色々な意見を聞きながら、少しでも改善出来るように進めていきたいと思っています。</p> <p>クラブ活動については、バレー部の顧問をやっていますが、何も出来ていないので部員とのコミュニケーションを取りながら、部としての活動が出来るようになればと思っています。</p> |